

令和2年度愛知県健康づくり推進協議会議事要約

【日 時】令和2年8月13日（木）から令和2年8月31日（月）まで（書面開催）

【委 員】20名

【内 容】

1 報告事項

- (1) 愛知県健康づくり推進協議会開催要綱の改正について
- (2) 健康づくりに係る3計画の令和元年度の主な取組について
 - ア「健康日本21 あいち新計画」の推進について
 - イ「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進について
 - ウ「愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進について
- (3) 令和元年度における各専門部会の開催状況等について

2 議 題

- (1) 令和2年度の事業計画について
 - ア「健康日本21 あいち新計画」の推進について
 - イ「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進について
 - ウ「愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進について
- (2) 愛知県循環器病対策推進計画の策定について

<主な意見>

(1) 令和2年度の事業計画について

- 健康日本21 あいち新計画 基本方針（Ⅰ）4. 健康経営推進企業支援事業や、基本方針（Ⅳ）3. 地域・職域連携推進事業については、本県における特徴ある事業として、とりわけ地域の商工会議所等関連団体と連携し、中小企業への支援に一層力を注いでほしい。
- 企業との距離が最も近いのは医療保険者であるため、県・医療保険者等できっかりと連携し、健康経営の推進に取り組んでいくことが一層重要であると考えます。
- 健康経営に取り組んでいる企業の方が、感染症対策にも不安が少なかったというデータもある。地域職域連携して、対策を進めてほしい。
- 健康日本21 あいち新計画 基本方針（Ⅱ）5. 特定健診・特定保健指導普及啓発強化月間については、今年度は、新型コロナウイルスの影響で6月のイベントが中止になり、クリアファイルの配布ができなかった。そのため、今後小売店舗に向けてポスターを掲載してもらえよう積極的に働きかけてほしい。
- 健康日本21 あいち新計画 基本方針（Ⅲ）2. たばこ対策推進事業については、従来のCOPD対策に加えて、今回の新型コロナウイルス感染症対策における呼吸器機能の確保の観点から好機としてとらえ、一層の禁煙指導を推進してほしい。

- コロナ重症化において、基礎疾患（肥満、糖尿病、喫煙、腎疾患等）の影響は大きいので、これらの対策を引き続き地道に取り組んでほしい。
- がんは治る病気、或いは長期に QOL を保って延命可能な病気となってきたので、がんとの共生はがん対策の中で重要になってきている。そのような観点で、第3期愛知県がん対策推進計画 基本方針（IV）2. ピア・サポーター養成事業に取り組むのは良いが、様々ながんサバイバーの方々の取組も存在するので、もう少し取組に多様性が欲しい。
- がん診療拠点病院の成績には、全国の各県別の比較、或いは愛知県内の拠点病院間の比較でも有意なバラツキがある。したがって、県のがん対策としては、現在のがん診療拠点病院を中心とする県内のがん治療成績の把握と、そのボトムアップに向けた取組が必要だと思う。それに関して、都道府県がん診療拠点病院としてがんセンターは、疫学や情報解析に長けた部門を研究所に持つ強みを生かして、県内の拠点病院の院内がん登録データの分析、評価をして、ボトムアップのための基盤情報を提供したいと考える。
- 愛知県歯科口腔保健基本計画 基本方針（II）歯科疾患の予防及び（III）口腔機能の維持・向上については、協会けんぽでは、愛知県歯科医師会・愛知学院大学と共同で、働く世代の口腔ケアと生活習慣病予防との影響についてコホート調査を実施している。医療保険者としても、働く世代の口腔ケアの取組みに積極的に取り組んでいるので、連携できるところは協力していきたい。
- 基本的な内容は良いと思うが、コロナ禍での具体的事業の検討が必要。
- 令和2年度の事業計画の各項目について、実施可能なもの（予定通り、または規模を縮小など）、延期や中止となるものについて示すと良い。
- 健康教育講座や研修会の開催に際し、新型コロナウイルス感染症に対策する必要がある。三つの密を避けるには、すべて Web 上での開催も検討が必要。リーフレットの配布にも現在、日常生活で「手渡し」を避けている状況もあり、街頭キャンペーンの実施方法も検討が必要。

（2）愛知県循環器病対策推進計画の策定について

- 循環器病は、しばしば患者にとって不自由な状態で長期の療養を強いられる辛い疾患である。健康寿命の延伸の観点からも対策の充実が急務である。患者側の超急性期から回復、慢性、在宅へのクリティカルパスの普及や、受入側の地域における拠点病院・連携病院等のネットワークの構築により、県内における循環器病医療提供体制（t-PA、血栓回収療法等）の「均てん化」が具体的に検討・策定され、一層の充実が図られることを期待する。
- 循環器病と言っても、虚血性心疾患、高齢者の心不全など病態によって対策は異なる。効果性及び医療との連携を考え、早めから専門医、心リハビリ職を交えた議論が必要。

（その他、意見等）

○今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、様々な社会活動が制限され、特に、健康づくりにおける「運動」実践の低下による生活習慣病への影響や、がん検診受診率の大幅な低下による早期発見率の減少等、健康寿命に関わる多くの疾患への悪影響が憂慮される。

健康日本 21 あいち新計画を始めとした、多くの健康関連計画の目標達成度評価は難しくなるものと考えられるが、そのような中において、今後における各種健康づくり施策の早期の回復と拡充を期待する。

○コロナウイルスのため、計画通り事業を進める事ができるのか、令和元年度のように事が運ばないのでは、また、困難ではないかと思う。

○県民への周知方法、啓蒙に、今までとは全く異なる手法を取らなければならないと思う。例えば、テレワークが進めば、鉄道の駅の人の流れにも影響があると思うので、より効果を期待できる方法を考える必要がある。

○新しい生活様式の中での事業と、将来に向けた計画のチェックが必要。

○保健事業と介護予防の一体化に関する取組が、明記されると良い。